第49回 全国 中学校大会

junior-high-school

8月22～25日 広島県立総合体育館

Girl's 四天王寺（大阪）

女子団体 優勝

太子部体は、大会沙月、香原結衣里の3年生を軸にトップ選手ぞろいの四天王寺が全試合オール3－0で2連覇を飾った。

決勝は、同じ大阪府で元日本女子代表監督の村上恭和氏率いるヴェニアアシスト卓球アカデミーで勝を誇く選手がそろう昌知第二。両校は、府大会で2回、近畿大会で1回対戦しており、4度目の勝負となったが、今回も四天王寺に軍配が上がった。

3位には、香原結衣と山田小夏が入賞した。

サービスからの巧妙な攻撃が光った香原結衣は元気いっぱいなプレーを見せた

冷静な守備プレーでチームを力強く支えた大澤沙羅

「全中の前にインターハイを迎えた選手達がぐっと精神をしてくれました。その中かげで選手もも「自分から、前衛にも出れました。昌知第二とは今年度4度目の対戦となり、大阪では大変はいやなんでしたが、3対2の粘り合いをしていましたので、自信していました。

選手たちは試上がりに上くなっていって、決勝では自分の力を出してくれました。ダブルスは、一番頑しくやってきたしたので、そのおかげで香原選手さんとの対戦ではーーで勝利できました」と村田元監督

「最大会で勝った」昌知第二のペアを相手に決勝のゲーム勝負で勝利した香原選手・山田小夏

四天王寺が2連覇！

準優勝 昌知第二（大阪）

昌知第二の多いドライブで得点を重ねた前半戦は、中盤で0－2の劣勢から逆転

女子団体 準優勝

鋭くよりもバックハンドが効いていた前川選手は、昌知第二の中軸で貴重な勝ち点を挙げた

準々決勝の大阪戦でラストに勝利した岩崎琴音

3位 山陽女（岡山）

打点の高い両ハンドを駆使して強豪に挑った山口琴音

3位 明徳義塾（高知）

Girl's BEST 8

鉄南（岡山）

中間東（福岡）

昌知第二（大阪）

零点は、実力のあるカットでミスを誘った昌知第二

大海（香川）

写真は、強い打点で点数を仕掛けた香原結衣

Boys 中間東（福岡）

男子団体 優勝

男子団体は中間東と予選リーグで敗退した昌知第二、決勝トーナメント1回戦で愛工大名電と接戦を競って勝ち上がってきた明豊と九州でよく知る相手同士となった。

試合は2台進行で行われ、トップで左腕の佐見周生（中間東）が、エースの阿部陸太を抜くと、主将として戦ったカットの原田裕翔（中間東）も勝利。中間東が2対0と王手をかけた3-4番、ダブルスは2－0とリードしマッチポイントを奪ったが、ここから明豊が粘り強さを見せて追撃し、ゲームオールに。しかし、中堅の梅田大和（中間東）が強豪の壁に門前を破って、ここで勝負あり。その後、ダブルスは明豊が勝利したが、3対1で中間東が優勝を決めた。

3位には、東京都の東田学園と宮崎学園が入った。

センスあるプレーを見せた佐見周生

大事な試合で勝利した原田裕翔。切り札カットに徹し、成功のあるエースを抜いた

「明豊は明月学園と愛工大名電を倒していて強いチームなので、「九州大会で対戦したときとは、別のチームだから新たな気持ちで臨もう」と話していました。強豪の相手をどうするか途中で考えたこともありましたが、若手、チームの柱として頑張って欲しいので、ここで一度切ってもいいかなと起用し続けた結果、最後は阿部エースに勝ってくれました。

応援で多くの人が駆けつけてくれました。全員の力がないと勝てないということを心から感じました」と石原昌樹アドバイザー

石原アドバイザーが「1年かけて強化した成果が出た」と評価した桜井拓夢・桜井亮介のダブルスは、決勝では敗れたが、中堅戦で逆転勝利を収めた

中間東が初優勝！

準優勝 明豊（大分）

力強いドライブを放つ阿部陸太はエースとしてチームを引っ張った。

男子団体 準優勝

愛工大名電戦では第1単で勝利した後、第2に勝利する金星を挙げた戸田皓太

堅実なプレーと安定した両ハンドを武器で力強として戦った多田裕樹

3位 東田学園（東京）

強いドライブが持ち味の宮崎祥仲は、エースとして14年ぶりとなる入賞に導いた

3位 宮崎学園（宮崎）

Boy's BEST 8

那久八剣（宮崎）

鶴南（大阪）

[illegible]（静岡）

江陵中央（北海道）